

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成24年10月12日

【四半期会計期間】 第36期第2四半期
(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

【会社名】 タビオ株式会社

【英訳名】 Tabio Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 越智勝寛

【本店の所在の場所】 大阪市浪速区難波中二丁目10番70号

【電話番号】 (06)6632-1200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 谷川繁

【最寄りの連絡場所】 大阪市浪速区難波中二丁目10番70号

【電話番号】 (06)6632-1200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 谷川繁

【縦覧に供する場所】 タビオ株式会社東京支店
(東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号)
株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第35期 第2四半期 連結累計期間		第36期 第2四半期 連結累計期間		第35期	
		自 至	平成23年3月1日 平成23年8月31日	自 至	平成24年3月1日 平成24年8月31日	自 至	平成23年3月1日 平成24年2月29日
売上高	(千円)		6,763,722		6,849,855		15,572,738
経常利益	(千円)		76,310		123,242		863,124
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失()	(千円)		67,908		17,846		350,752
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		61,425		16,377		351,745
純資産額	(千円)		4,684,217		4,909,403		5,097,388
総資産額	(千円)		7,760,109		7,328,433		8,566,878
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 又は四半期純損失金額()	(円)		9.97		2.62		51.49
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		60.4		67.0		59.5
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		273,694		452,276		1,861,963
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		172,529		276,726		378,710
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		385,069		468,980		1,020,644
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		1,894,685		1,440,868		2,638,921

回次		第35期 第2四半期 連結会計期間		第36期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年6月1日 平成23年8月31日	自 至	平成24年6月1日 平成24年8月31日
1株当たり四半期純損失金額 ()	(円)		17.04		13.61

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第35期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 第35期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第36期第2四半期連結累計期間及び第35期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当グループ（当社及び当社の関係会社）が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

なお、当第2四半期連結累計期間において、株式の取得に伴い、Tabio Retail S.A.S.が新たに連結子会社となりました。セグメント情報との関連については、単一セグメントであるため記載を省略しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日～平成24年8月31日）における国内経済におきましては、個人消費は緩やかに増加し、雇用情勢に改善の動きが見られたものの、欧州債務危機や中国の景況感悪化などによる海外経済の減速で輸出や生産活動に弱い動きが見られるなど、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

国内衣料品販売におきましては、前年の震災からの反動による増収要因はありましたが、気温の変動や天候不順により季節商品が低迷したことや、百貨店やファッションビル等のセール分散化に伴う購買意欲の低下等の減収要因もあり、実需志向が強まっている昨今においては、より顧客ニーズに沿った商品提案のできる専門店に強みが顕れる結果となりました。

このような状況の中で当グループは、店頭から生産現場までを結んだ情報システム網を活用し、製造・販売を一体化した自己完結型の国内生産体制の強みを生かしながら、多様に変化する顧客ニーズに、機敏かつ柔軟に対応できるように尽力して参りました。

当第2四半期連結累計期間における業績におきましては、前年の震災による影響と震災直後の春物需要の高まりやメディアに取り上げられたことによる反響等が重なり、3月から5月における売上高は、月次単位で大きく変動する結果となりましたが、6月から7月にかけてはカバーソックス等の夏物商品やメンズ商品が好調に推移し、売上高は堅調に推移致しました。ただ8月下旬は、秋冬物商戦に向けたリニューアルに伴う店舗の一時閉鎖の影響等もあり、売上高は低調な動きとなりましたが、第2四半期累計期間の売上高は前年を上回ることができました。

当グループの主力部門である「靴下屋関連部門」では、『マイティソクサー』を『靴下屋』ブランドに吸収し、主力業態への集約化を進めることにより、ブランド力の強化と認知度の向上に努めて参りました。また、秋冬物商戦へ向けての既存店舗の移転・リニューアルを進めると共に、メンズ売上の強化を図って、催事店舗の出店を行って参りました。

「ショセット関連部門」では、『ショセット』から『タビオ』へと業態を集約していく事業方針を掲げて、レディース・メンズの複合店舗の開発に着手すると共に、積極的な催事出店を行うことによって『タビオ』ブランドの浸透とメンズ売場の強化に努めて参りました。

海外展開におきましては、タビオ・ヨーロッパの経営改革を推し進め、事業基盤の建て直しに着手すると共に、タビオ・フランスでは7月にパリ市内において2号店目の出店を行いました。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店10店舗、直営店11店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店12店舗、直営店10店舗の退店により、当第2四半期連結累計期間末における店舗数

は、フランチャイズチェーン店124店舗、直営店154店舗（海外子会社の7店舗を含む）、合計278店舗となりました。

利益面におきましては、直営店の契約解除等に伴う賃貸借契約解約損38百万円等を特別損失として計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,849百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は111百万円（前年同期比79.3%増）、経常利益は123百万円（前年同期比61.5%増）、四半期純利益は17百万円（前年同期は67百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期（3月～8月）に比べ下半期（9月～2月）に販売される割合が大きくなっております。従いまして連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節の変動があります。

（2）財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が1,198百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べて1,238百万円減少し、7,328百万円となりました。

負債については、買掛金で376百万円、未払法人税等で312百万円、長期借入金で177百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べて1,050百万円減少し、2,419百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比べて187百万円減少し、4,909百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の59.5%から67.0%に増加しました。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて1,198百万円減少し、1,440百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費が208百万円、売上債権の減少額で85百万円ありましたが、仕入債務の減少額で377百万円、法人税等の支払額で342百万円があったこと等により、

452百万円（前年同期より725百万円の減少）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出で162百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出で66百万円、その他の支出で61百万円あったこと等により、276百万円（前年同期より104百万円の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出で238百万円、配当金の支払額で203百万円あったこと等により、468百万円（前年同期より83百万円の減少）となりました。

（4）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は8百万円であります。

(6) 主要な設備

第2四半期連結累計期間において、Tabio Retail S.A.S.を連結子会社化したことにより、以下の設備が当社グループの主要な設備となりました。

会社名	事業所名 (所在地)	事業部門	設備の内容	帳簿価額(千円)						完成年月	従業員数 (名)
				土地 (面積㎡)	建物及び 構築物	工具、器具 及び備品	差入保証金	その他	合計		
Tabio Retail S.A.S.	店舗・事務所 (フランス パリ)	その他の 部門	買収に伴 う増加				697	66,874	67,572	平成24年 6月	
合計							697	66,874	67,572		

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 帳簿価額のうち「その他」は、賃借権であります。
 3 当グループは靴下に関する事業の単一セグメントであるため、事業部門に関連付けて記載しております。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	26,000,000
計	26,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年10月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,813,880	6,813,880	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	6,813,880	6,813,880		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年6月1日～ 平成24年8月31日		6,813,880		414,789		92,424

(6) 【大株主の状況】

平成24年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
有限会社越智産業	奈良県北葛城郡広陵町疋相309番地2	1,848	27.12
越智勝寛	大阪市平野区	1,275	18.72
越智直正	奈良県北葛城郡広陵町	830	12.18
タピオ取引先持株会	大阪市浪速区難波中二丁目10番70号	258	3.78
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	128	1.88
石坂?之	大阪府豊中市	114	1.68
兼古志郎	大阪府枚方市	93	1.36
今井正孝	奈良県大和高田市	76	1.11
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	63	0.92
タピオ従業員持株会	大阪市浪速区難波中二丁目10番70号	50	0.74
計		4,738	69.54

(注) 上記の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 128千株

日本マスタートラスト信託銀行株式会社 63千株

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年 8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,700		株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,810,800	68,108	同上
単元未満株式	普通株式 1,380		同上
発行済株式総数	6,813,880		
総株主の議決権		68,108	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式79株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年 8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) タビオ株式会社	大阪市浪速区難波中二丁目 10番70号	1,700		1,700	0.0
計		1,700		1,700	0.0

2 【役員の状況】

該当事項ありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年6月1日から平成24年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,638,921	1,440,868
受取手形及び売掛金	842,989	760,699
商品	576,586	624,845
貯蔵品	413	544
その他	240,785	221,765
貸倒引当金	35,798	30,731
流動資産合計	4,263,897	3,017,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,022,685	1,020,612
土地	1,182,014	1,182,014
その他(純額)	246,749	277,882
有形固定資産合計	2,451,450	2,480,510
無形固定資産	752,449	743,435
投資その他の資産		
差入保証金	1,001,893	1,008,145
その他	98,491	79,787
貸倒引当金	1,305	1,436
投資その他の資産合計	1,099,079	1,086,496
固定資産合計	4,302,980	4,310,442
資産合計	8,566,878	7,328,433
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,236,996	860,322
短期借入金	33,538	32,011
1年内返済予定の長期借入金	179,891	118,286
未払法人税等	356,444	43,493
賞与引当金	121,026	138,131
その他	708,428	589,532
流動負債合計	2,636,325	1,781,777
固定負債		
長期借入金	394,099	216,820
退職給付引当金	157,075	159,304
資産除去債務	106,333	104,223
その他	175,656	156,904
固定負債合計	833,164	637,252
負債合計	3,469,489	2,419,030

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,424
利益剰余金	4,652,860	4,466,343
自己株式	952	952
株主資本合計	5,159,121	4,972,604
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	61,732	63,201
その他の包括利益累計額合計	61,732	63,201
純資産合計	5,097,388	4,909,403
負債純資産合計	8,566,878	7,328,433

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	6,763,722	6,849,855
売上原価	3,026,569	3,046,037
売上総利益	3,737,153	3,803,817
販売費及び一般管理費	1 3,675,123	1 3,692,609
営業利益	62,029	111,208
営業外収益		
受取利息	1,856	1,739
仕入割引	13,638	5,483
固定資産賃貸料	2,002	2,002
受取手数料	4,986	5,686
その他	7,698	11,469
営業外収益合計	30,182	26,382
営業外費用		
支払利息	10,259	5,328
固定資産賃貸費用	581	418
為替差損	4,656	7,790
その他	404	810
営業外費用合計	15,902	14,347
経常利益	76,310	123,242
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8,266	-
特別利益合計	8,266	-
特別損失		
固定資産除却損	8,080	3,941
リース解約損	975	-
賃貸借契約解約損	15,300	38,938
減損損失	4,098	3,359
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53,222	-
特別損失合計	81,676	46,239
税金等調整前四半期純利益	2,900	77,003
法人税、住民税及び事業税	43,168	33,127
法人税等調整額	27,640	26,030
法人税等合計	70,808	59,157
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	67,908	17,846
四半期純利益又は四半期純損失()	67,908	17,846

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	67,908	17,846
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,093	-
為替換算調整勘定	7,576	1,468
その他の包括利益合計	6,483	1,468
四半期包括利益	61,425	16,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,425	16,377
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,900	77,003
減価償却費	195,428	208,388
減損損失	4,098	3,359
貸倒引当金の増減額（は減少）	8,289	4,935
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53,222	-
賞与引当金の増減額（は減少）	49,506	17,105
退職給付引当金の増減額（は減少）	18,952	2,229
受取利息及び受取配当金	1,856	1,739
支払利息	10,259	5,328
固定資産除却損	8,080	3,941
売上債権の増減額（は増加）	90,047	85,274
たな卸資産の増減額（は増加）	7,937	48,039
仕入債務の増減額（は減少）	77,001	377,802
その他の資産の増減額（は増加）	7,635	34,497
その他の負債の増減額（は減少）	37,401	31,082
未払消費税等の増減額（は減少）	40,684	79,730
小計	348,328	106,203
利息及び配当金の受取額	1,395	1,089
利息の支払額	9,664	4,543
法人税等の支払額	66,364	342,618
営業活動によるキャッシュ・フロー	273,694	452,276
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	115,232	162,000
有形固定資産の除却による支出	1,642	6,422
有形固定資産の売却による収入	30	-
無形固定資産の取得による支出	67,993	12,513
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	66,636
貸付けによる支出	7,960	740
貸付金の回収による収入	7,698	8,507
その他の支出	28,674	61,897
その他の収入	41,244	24,977
投資活動によるキャッシュ・フロー	172,529	276,726
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	19,388	1,768
長期借入金の返済による支出	176,576	238,884
ファイナンス・リース債務の返済による支出	24,792	25,118
配当金の支払額	203,090	203,209
財務活動によるキャッシュ・フロー	385,069	468,980
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,411	69
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	281,492	1,198,052
現金及び現金同等物の期首残高	2,176,178	2,638,921
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,894,685	1,440,868

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
(連結の範囲の重要な変更) 当第2四半期連結会計期間より、Tabio Retail S.A.S.の株式を新たに取得し、同社を子会社としたことから、連結の範囲に含めております。 なお、変更後の連結子会社数は4社です。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)																
1 販売費及び一般管理費の主な内容は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">従業員給与・賞与</td> <td style="text-align: right;">1,081,775千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">157,919千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">39,574千円</td> </tr> <tr> <td>家賃</td> <td style="text-align: right;">803,243千円</td> </tr> </table>	従業員給与・賞与	1,081,775千円	賞与引当金繰入額	157,919千円	退職給付費用	39,574千円	家賃	803,243千円	1 販売費及び一般管理費の主な内容は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">従業員給与・賞与</td> <td style="text-align: right;">1,098,940千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">137,028千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">24,758千円</td> </tr> <tr> <td>家賃</td> <td style="text-align: right;">807,430千円</td> </tr> </table>	従業員給与・賞与	1,098,940千円	賞与引当金繰入額	137,028千円	退職給付費用	24,758千円	家賃	807,430千円
従業員給与・賞与	1,081,775千円																
賞与引当金繰入額	157,919千円																
退職給付費用	39,574千円																
家賃	803,243千円																
従業員給与・賞与	1,098,940千円																
賞与引当金繰入額	137,028千円																
退職給付費用	24,758千円																
家賃	807,430千円																
2 当グループの売上高は、取扱商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期(3月～8月)に比べ下半期(9月～2月)に販売される割合が大きくなっております。従いまして第2四半期を含む上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。	2 同左																

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)												
現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年8月31日現在)	現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年8月31日現在)												
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">1,894,685千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月超の定期預金</td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">1,894,685千円</td> </tr> </table>	現金及び預金	1,894,685千円	預入期間が3か月超の定期預金	千円	現金及び現金同等物	1,894,685千円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">1,440,868千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月超の定期預金</td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">1,440,868千円</td> </tr> </table>	現金及び預金	1,440,868千円	預入期間が3か月超の定期預金	千円	現金及び現金同等物	1,440,868千円
現金及び預金	1,894,685千円												
預入期間が3か月超の定期預金	千円												
現金及び現金同等物	1,894,685千円												
現金及び預金	1,440,868千円												
預入期間が3か月超の定期預金	千円												
現金及び現金同等物	1,440,868千円												

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月26日 定時株主総会	普通株式	204,363	30	平成23年2月28日	平成23年5月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月24日 定時株主総会	普通株式	204,363	30	平成24年2月29日	平成24年5月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()	9円97銭	2円62銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	67,908	17,846
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(千円)	67,908	17,846
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,812	6,812

(注)前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月11日

タビオ株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 高 濱 滋 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているタビオ株式会社の平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年6月1日から平成24年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、タビオ株式会社及び連結子会社の平成24年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の平成24年2月29日をもって終了した前連結会計年度の第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成23年10月13日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成24年5月24日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。